



中南米日系社会との連携に関する 有識者懇談会

日本と日系社会の関係 日系社会の活動と問題意識

平成29年3月6日
外務省中南米局長 高瀬 寧



日本と日系社会の関係

- ◆ 2000年海外移住審議会意見
- ◆ 現行の施策
- ◆ 周年の状況
- ◆ 安倍総理の問題意識

2000年 海外移住審議会意見

「海外日系人社会との協力に関する今後の政策」

- ✓海外日系人は「懸け橋」となりうべき存在。
- ✓居住国での活躍は我が国にとって有形無形の財産。
- ✓「支援」という考え方から互恵的な「協力」へという意識。
- ✓日系人社会の求めの変化にあわせて引き続き支援を実施。
- ✓移住の歴史・意義を日本国民が正しく理解することが重要。

等

⇒上記理念を踏まえ具体的施策を提言

現行の施策

政府／JICA	・「中南米経済・文化交流促進会議」等の取組 ・日系社会支援（移住者支援） ・各種招へい・研修事業，日系社会ボランティア派遣，等 ・日本語・和食・文化事業・日本祭り等を通じた支援・協力，現地行事への参画，等
経済界	・中南米におけるビジネス面での日系ネットワークや人材の活用 ・中南米や本邦における日系人材の活用・雇用 ・現地日系行事への参加・協力，等
自治体／関係団体	・現地県人会との交流，県費留学生受入，等 ・海外日系人協会/大会

等

周年の状況

- ✓各国で外交関係樹立，移住，県人会設立などから概ね10年周期。
- ✓アルゼンチン，ボリビア，ブラジル，コロンビア，キューバ，ドミ共，メキシコ，パラグアイ，ペルーに県人会あり。
- ✓2017年中南米8か国で計24の周年。2018年は計30。

2017年の主な周年

- メキシコ移住120周年
- チリ外交関係樹立120周年
- ブラジル福島県人会100周年
- ペルー日系人協会100周年，同山形県人会100周年等



メキシコ：檀本植民記念碑

安倍総理の問題意識

問題意識：中南米日系社会と日本の関係の強化

＜中南米日系社会の重要性・日本との関係 ～安倍総理の挨拶から～＞

- 「日系の皆さんが築いてこられた信頼こそは、中南米における、日本に対する信頼の基礎です。」「中南米の未来を担う若いリーダーたちとの絆を深めるために、交流事業を拡充していこうと思います。」「私たちは、海外で活躍しておられる日系人の皆さんにとって誇りを持てる国になっていきたいと思います。」

（2014年、ブラジルでの中南米政策スピーチ、日系団体主催歓迎会挨拶）

- 「中南米のいたるところで、現地の人々から不動の信頼を集める方々がいてくださる。そんな皆様が『架け橋』になってくださるからこそ、日本と中南米は『Juntos=Together』でやっていけるのです。」「そうした皆さまの活動に役立つことであれば何でもやるように、私は各国の日本大使館や領事館やJICAに指示をいたしました。うんと働いてもらいたいと思います。働きが悪かったら是非私に連絡をしていただきたいと思います。」

（2016年、アルゼンチンでの日系社会歓迎行事での挨拶）





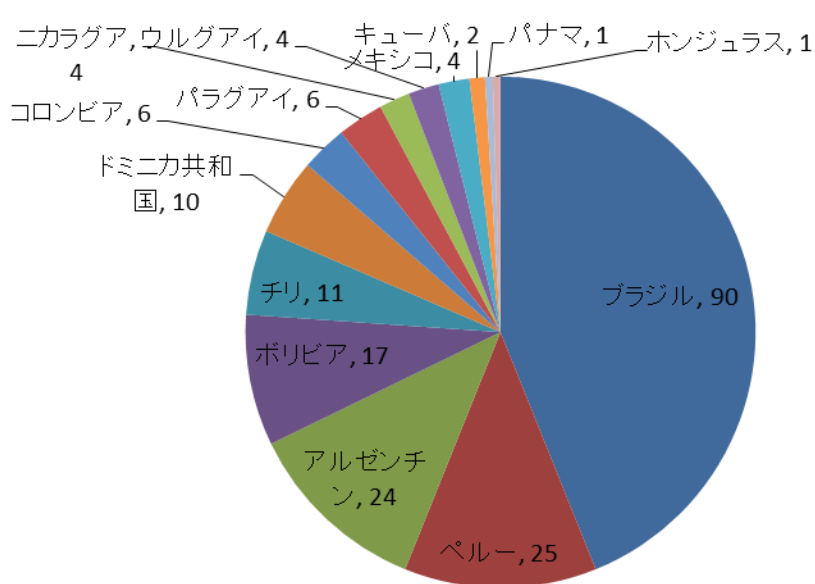
日系社会の活動と問題意識

◆日系社会の活動（主要行事）

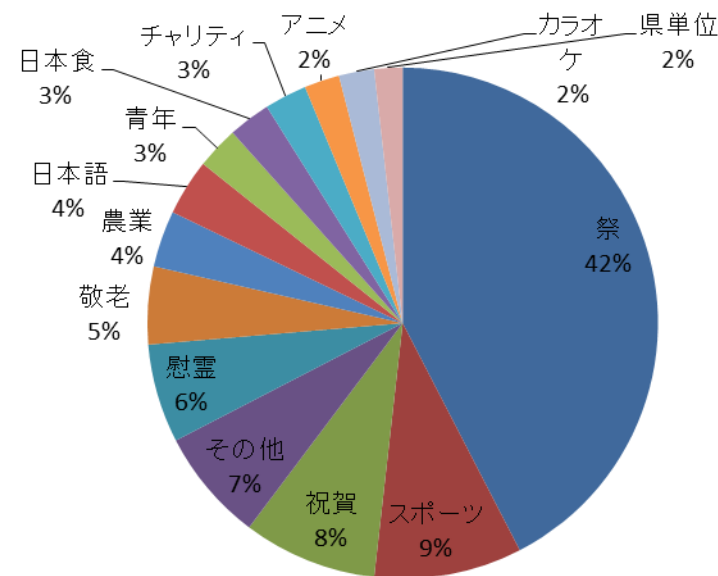
◆中南米日系社会の主な関心事項

日系社会の活動（主要行事）

- ✓2017年の中南米日系社会関連主要行事：206件
- ✓全行事への総参加者数：2,058,650人
- ✓多くの非日系が参加。日本関連祭りを筆頭に多岐に亘る。



国別行事数（全206件）



行事のカテゴリー

（※1イベントにつき複数カテゴリーの重複あり） 8

中南米日系社会の主な関心事項（総論）

- ✓本件有識者懇談会を歓迎。現地の意見を有識者懇談会の検討に反映。可能であれば、現地日系社会代表も参加。
- ✓若い世代の取り込みを重視する一方で、一世・二世が検討範囲から外れることを懸念。日系社会内の世代間ギャップに要注意。
- ✓日系リーダーや人材育成、日系社会の高齢化、日系人が誇りに思い、心の拠り所となる日本の在り方、オールジャパンでの日本の発信、各国における日系人の存在感強化についても検討していただきたい。
- ✓国毎に中南米日系社会の規模や違いがあることを踏まえて検討していただきたい。
- ✓報告書は日・英・西・葡語で公表していただきたい。

中南米日系社会の主な関心事項（各論）

◆日系社会の世代交代:日系団体の現状と日本との交流について

- ✓日系社会の貢献を日本国内及び中南米社会で広報，保存することが重要。
- ✓日系団体への支援（施設の老朽化への対応等）。高齢化への対応（看護，介護）支援。
- ✓県人会との交流の取り組みの活発な地方自治体の経験を活かす。等

◆日系社会の世代交代:新世代の日系意識について

- ✓次世代リーダー養成や若い世代が日本に触れる機会，訪日招聘・留学・研修の機会の拡大。また，査証面の緩和。
- ✓日本と中南米日系社会の若者間の交流の促進（日本への招へい及び日本からの派遣の件数の増，ホームステイや中南米日系社会行事の機会の活用等）。等

◆日系社会活動の裾野の拡大：非日系人の参画／非日系社会への訴求，様々なネットワークの拡がりについて

- ✓現地日系社会・団体による，日本語・和食・日本文化・武道等スポーツ・日本式教育や経営手法等の普及事業，また，日本祭り等行事を通じた，中南米各国社会・国民への発信・訴求行動との連携拡大を期待。これら事業や行事は，日系団体に所属しない若い世代の日系人への発信にも資するもの。
- ✓日本語普及事業をはじめ諸活動において，非日系人の教員・スタッフ・受講者・参加者の増加を踏まえた取組が検討されることを期待。
- ✓これら行事・事業との連携のため，指導者・講師の日本からの派遣や，「今日の日本」や日本文化に関するコンテンツの提供や日本からの発信等に期待。
- ✓地域や国境を越えた中南米日系社会のネットワーク活動との連携（日本からの参加，海外日系人大会への若者（若い世代の日系人）の参加等）。
- ✓中南米日系ネットワークイベントの日本における開催支援（合同合宿等）。
- ✓中南米日系社会の実相に関する包括的調査の実施。

等



◆その他

- ✓進出日本企業による日系社会人材の活用，日系専門職ネットワークとの連携，現地日系社会ビジネス団体等を通じた中小企業交流や現地企業とのマッチング，現地の人材育成への支援，留学機会等。
- ✓日本における中南米日系社会人材の活用（4世への特定査証等を含む。）。
- ✓国籍 等

～御静聴ありがとうございました。～